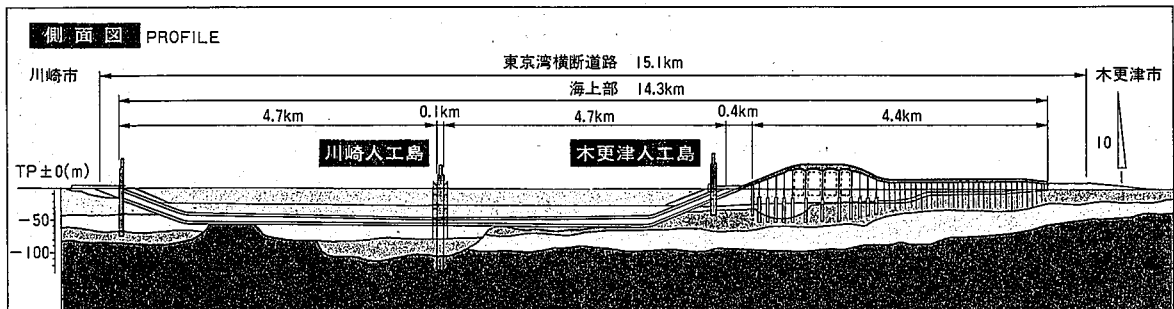
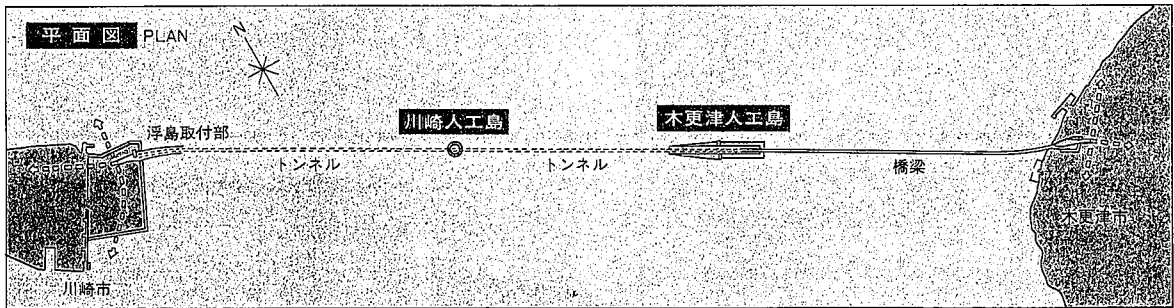
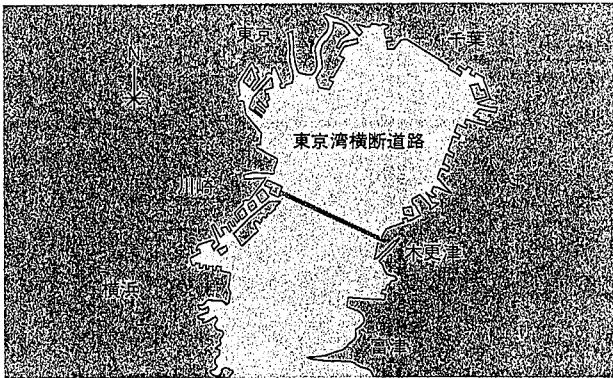


東京湾横断道路プロジェクト

1. 概要

東京湾横断道路は、川崎と木更津を結び、東京湾のほぼ中央を横断する、長さ15kmの自動車専用道路です。川崎側10kmは海底トンネル、木更津側5kmは橋梁となっており、トンネル区間の中央部およびトンネルと橋梁の接続部の2か所に人工島（川崎人工島、木更津人工島）が設けられます。

新日本製鐵は、東京湾横断道路建設工事のうち、川崎人工島および木更津人工島の建設工事に参加しています。



2. 川崎人工島:ジャケット式護岸の製作, 施工

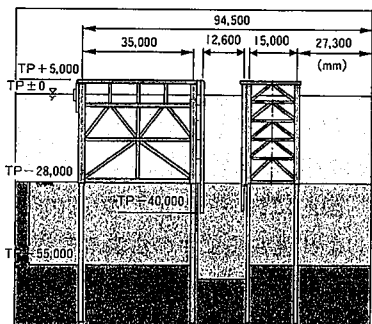
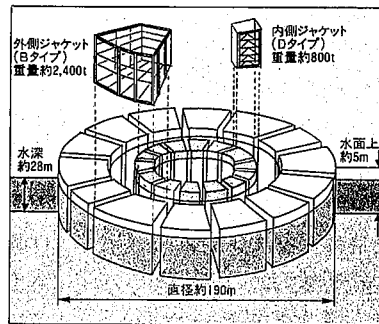
川崎人工島はトンネル部の中央に建設される巨大な円筒形コンクリート構造物で、建設中はシールドトンネルの発進立坑として、また、完成後はトンネルの換気塔として利用されます。

当社は、一連の工事のうちジャケット式護岸の製作、施工を担当しました。ジャケット14基は、すべて新日本

製鐵若松鉄構海洋センターで製作しました。同センターは、敷地120万 m²を有する日本最大の海洋構造物の製作工場です。これまでに世界各地に百数基(約26万t)のジャケットを送り出しています。

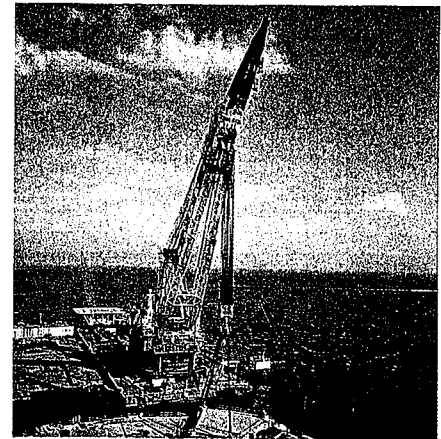
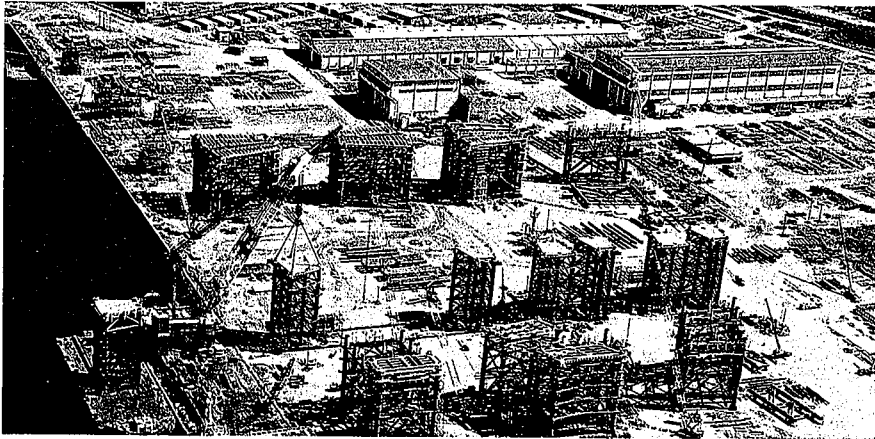
現場に到着したジャケットは、大型クレーンで所定の位置に据付けます。さらに、大口径長尺の鋼管杭を打込んで海底に固定します。施工は海洋作業船「第1くろしお」を用いて行いました。

		内側ジャケット	外側ジャケット
ジャケット	基数	7基	7基
	重量	760t	1,400~2,400t
鋼管杭	直径	1.6m	1.8m
	長さ	75~80m	75~80m
	本数	42本	74本



工事数量(新日本製鐵施工分)

ジャケット側面図



3. 木更津人工島ジャケット式護岸工

22基のジャケットの据付、杭打ちを行いました。この工事には時期に応じて海洋作業船「第1くろしお」のほか、大型フローティングクレーン船も使用しました。

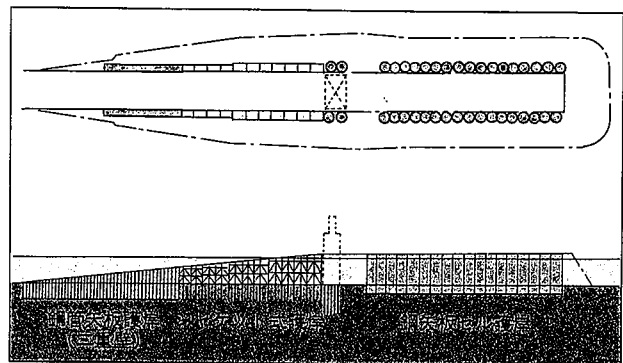
営業窓口

鉄構海洋事業部 海洋・鋼構造エンジニアリング部

Tel(03)3275-6272

ジャケット	基数	重量	
	22基	380t~1,000t	
鋼管杭	直径	長さ	本数
	1.1~1.9m	46~59m	220本

工事数量



ジャケット式護岸工, セル護岸工